

平成 26 年度第 1 回獣医学術功績者選考委員会の会議概要

I 日 時 平成 26 年 11 月 5 日 (水) 13:00 ~ 14:30

II 場 所 日本獣医師会・会議室

III 出席者

【委員長】 酒井 健夫 日本獣医師会副会長 (日本大学名誉教授)

【産業動物部門委員】

小形 芳美 山形県農業共済組合連合会家畜部長
佐藤 繁 岩手大学農学部教授
澤田 勉 大阪府立大学名誉教授
白井 淳資 東京農工大学農学部教授
中尾 敏彦 元山口大学農学部教授

【小動物部門委員】

岡野 昇三 北里大学獣医学部教授
佐藤れえ子 岩手大学農学部教授
西村 昌数 帯広畜産大学名誉教授
丸尾 幸嗣 岐阜大学応用生物科学部教授
大草 潔 仙台市獣医師会会長、大草動物病院 (仙台市) 院長

【公衆衛生部門委員】

石黒 直隆 岐阜大学応用生物科学部教授
植田富貴子 日本獣医生命科学大学獣医学部教授
丸山 総一 日本大学生物資源科学部教授
山田 章雄 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

【欠席委員】 山本 茂貴 東海大学海洋学部教授

【本 会】 矢ヶ崎忠夫 (専務理事)

IV 議 事

- 1 平成 26 年度日本獣医師会獣医学術賞 (獣医学術奨励賞、獣医学術功労賞) の選考・審査等
- 2 その他

V 会議概要

開会に当たり、矢ヶ崎専務理事から挨拶が行われた後、委員の出欠の確認が行われ、欠席委員からは各部門副委員長への委任状が提出されていることが事務局から報告された。

1 平成 26 年度日本獣医師会獣医学術賞（獣医学術奨励賞、獣医学術功労賞）の選考・審査等

事務局からの日本獣医師会獣医学術賞に関する規程の説明に続いて、獣医学術奨励賞については日本獣医師会雑誌に掲載された研究論文（原著・短報）の中から、獣医学術功労賞については推薦のあった業績の中から、それぞれ部門ごとに選考が行われた後、各部門の副委員長から審査結果と選考理由がそれぞれ以下のとおり報告された。

【 産業動物部門 】

〔 獣医学術奨励賞：候補業績 51 題から選出 〕（第 67 巻第 7 号掲載）

タイストール牛舎で多発する傾蹄の CT 画像解析及び飼養管理調査

大下克史（広島県農業共済組合連合会）、他

＜選考理由＞ タイストール牛群で発生の多い後肢外蹄の傾蹄については、これまでその病態や発生要因が明らかでなかったが本研究は、傾蹄の解剖学的特徴を CT 画像により解析するとともに、発生の環境的要因として、牛床のゴムマットの硬度が関与していることを明らかにした。このことは、牛の傾蹄の病態と発生要因の解明に大きく貢献し産業動物獣医学の進歩に著しく貢献するものであることから、獣医学術奨励賞として推薦する。

〔 獣医学術功労賞 〕

牛の繁殖障害防除に関する研究 加茂前秀夫（東京農工大学・名誉教授）

＜選考理由＞ 繁殖障害は牛の生産性を阻害する大きな要因の一つであり、その原因の解明と診断、治療及び予防法の確立は、産業動物獣医療における重要な課題である。加茂前秀夫氏の長年にわたる牛繁殖障害に関する一連の研究の成果は、産業動物 獣医学の振興に著しく寄与するとともに、繁殖障害の新しい診断・治療法の普及 にも多大な貢献をもたらし、また、日本産業動物獣医学会会長として同学会の運営に貢献されたことは高く評価される。このため、同氏に対する獣医学術功労賞の 授与はふさわしいと判断した。

【 小動物部門 】

〔 獣医学術奨励賞：候補業績 42 題から選出 〕（第 67 巻第 5 号掲載）

腎盂拡張の認められた猫に対する尿管ステント留置術の臨床的検討

桑原康人（クワハラ動物病院・名古屋市）、他

＜選考理由＞ 猫において比較的多く見られる尿管閉塞の治療には外科的介入が必要であり手術後の狭窄など困難な点も多いが、本論文では、尿管ステントの設置による尿管狭窄と腎盂拡張の改善の可能性を、経過を追いながら多くの症例で詳細に検討した点が高く評価できる。丁寧な記述と分かりやすい図解による情報提供も充分であり、獣医学術奨励賞として推薦する。

〔 獣医学術功労賞 〕

小動物における腫瘍の浸潤・転移機構に関する研究

佐々木伸雄（東京大学・名誉教授）

<選考理由> 佐々木伸雄氏は、獣医界において長年にわたり教育・研究・臨床に尽力され、獣医麻酔外科学会による活動をはじめとして小動物獣医療分野をリードしてこられた。日本獣医師会においても、日本小動物獣医学会会長をはじめとして各種委員会の委員長等、重責を担ってこられたほか、農林水産省獣医事審議会の会長を長年務められたことから、獣医学術功労賞の授与にふさわしいと判断した。

【 公衆衛生部門 】

〔 獣医学術奨励賞：候補業績 23 題から選出 〕（第 67 巻第 5 号掲載）

冷凍保存した食品検体からのコレラ菌検査法の検討

小野一晃（埼玉県衛生研究所）

<選考理由> 本論文は、冷凍保存された食品中のコレラ菌の動態を詳細に解析するとともに、分離が難しい冷凍した食品からのコレラ菌の分離手法を開発したが、特に、冷凍した食品検体からのコレラ菌の分離には、増菌培養と分離培地が重要であることを示し、繰り返し検査することの大切さを示した点が高く評価できることから、本論文は獣医学術奨励賞に値するものであり、推薦する。

〔 獣医学術功労賞 〕

エルシニア属菌の生態学的ならびに分類学的研究

福島 博（島根県保健環境科学研究所・元保健科学部長）

<選考理由> 福島 博氏は、長年にわたり家畜及び野生動物におけるエルシニア属菌の生態学的研究と疫学的研究を行い、多くの学術論文を公表するとともに、世界のエルシニア属菌の研究をリードするなど人獣共通感染症分野や獣医公衆衛生学領域における学術的貢献は多大である。また、日本獣医公衆衛生学会地区評議員（幹事）として日本獣医公衆衛生学会の運営に貢献し、学会の活性化に寄与した。これらの功績は、獣医学術功労賞に相応しいと判断した。

VI まとめ

平成 26 年度第 1 回委員会は、酒井委員長によって以下のとおりまとめられた。

- 1 平成 26 年度第 2 回委員会は平成 27 年 2 月 14 日（土）、平成 26 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山）の会場である幕張メッセにおいて開催すること。
- 2 平成 26 年度日本獣医師会獣医学術賞の発表と授与は、平成 26 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山）の場において行うこと。